

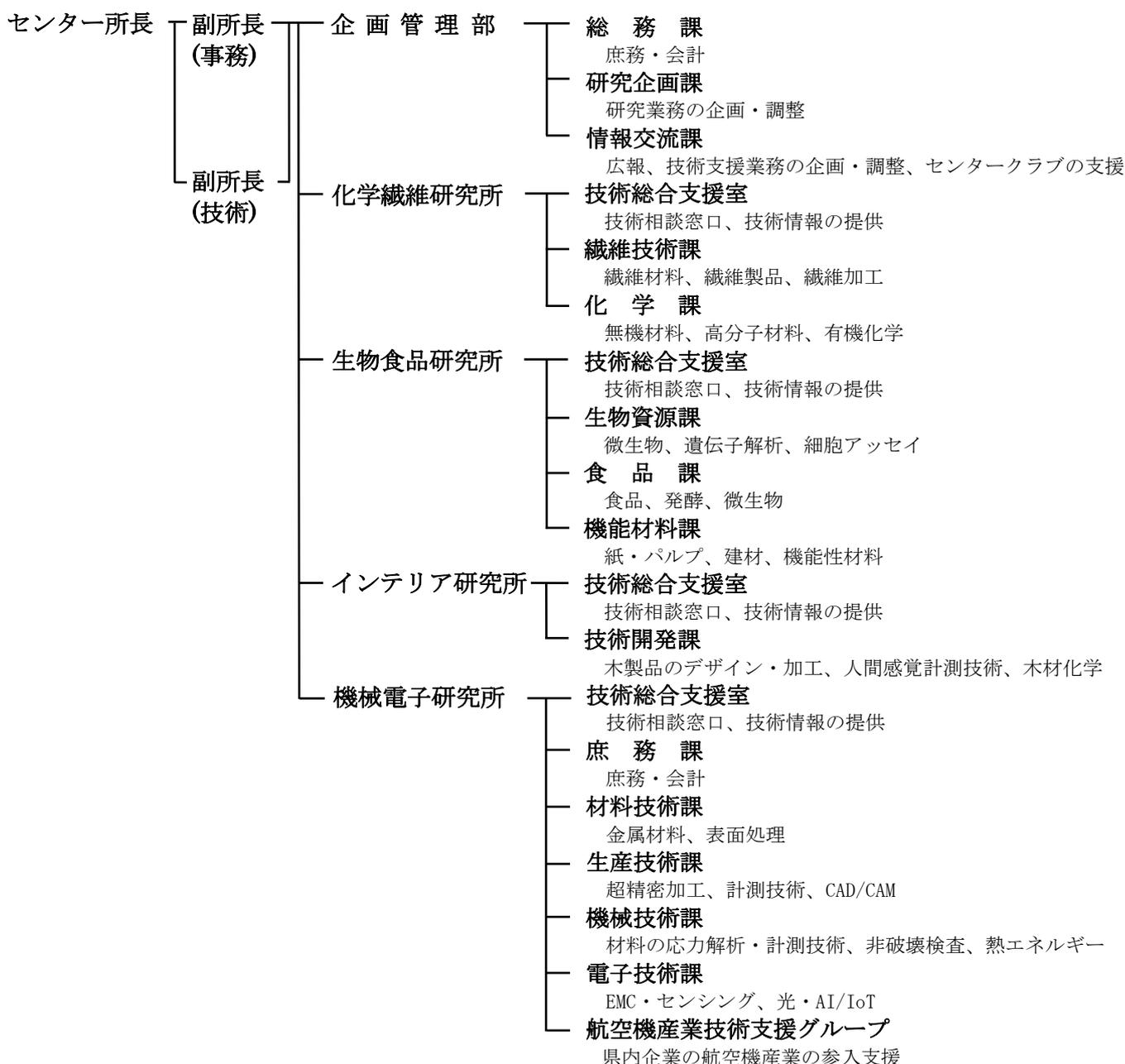
第1章

概 要

1-1 沿革

大正 14 年	4 月	福岡県福岡工業試験部、久留米工業試験部、福島工業試験部発足
昭和 2 年	4 月	試験部を試験場に改称
昭和 13 年	8 月	福岡県金属工業試験場設立(昭和 56 年 統合により廃庁)
昭和 23 年	8 月	久留米工業試験場を国へ移管
昭和 29 年	6 月	福岡県直方鉱業試験場設立(昭和 56 年 統合により廃庁)
昭和 29 年	11 月	福岡県福岡工業試験場久留米分場設置(昭和 53 年 統合により廃庁)
昭和 32 年	3 月	福岡県福島工業試験場大川分場設置(昭和 37 年 大川木工指導所に改称)
昭和 40 年	4 月	福岡県福島工業試験場大川木工指導所を福岡県大川木工指導所に改称
昭和 53 年	5 月	福岡工業試験場に久留米分場を統合し、福岡工業試験場を筑紫野市に設置
昭和 56 年	6 月	金属工業試験場と直方鉱業試験場を統合し、福岡県北九州工業試験場設立
昭和 57 年	4 月	福岡県大川木工指導所を福岡県大川工業試験場に改称
平成 2 年	4 月	4 試験場を統合し、4 研究所体制の福岡県工業技術センター設立、4 試験場を改称(化学繊維研究所、材料開発研究所、インテリア研究所、機械電子研究所)
平成 7 年	4 月	材料開発研究所を廃庁し、福岡県工業技術センター生物食品研究所設立

1-2 組織と業務



1-3 令和4年度の方針

県内企業においては、経済のグローバル化や情報化の進展による企業間競争の激化、人口減少・高齢化による市場縮小と労働力不足に加え、国際情勢の不安定化によるサプライチェーンの見直し、気候変動問題解決のためのグリーン社会（脱炭素社会、気候変動適応社会、自然共生社会、循環型社会）実現への貢献、新型コロナウイルス感染症拡大により加速されたデジタル社会の実現等の急激な社会変容にも柔軟かつ迅速に対応することが求められています。

福岡県工業技術センターは、「～“創る”を“共に”～ 福岡の未来（あす）をひらく技術拠点」をキャッチフレーズに、企業の“創る”に寄り添いながら、激しい変化を乗り越え成長発展を目指す企業をしっかりと支援してまいりますので、私どもの取り組みをご理解いただき、より一層のご活用をお願いいたします。

○研究開発

市場や企業のニーズを踏まえ、新技術の開発から企業での事業化までの一連の流れの中における研究開発を、効率的かつ組織的に推進します。

○人材育成

ものづくり現場の基盤技術を担う人材を育成するため、関係支援機関や大学、業界団体等と連携して、セミナーや実習等の企画、カリキュラムや教材作成、研修の実施などの取り組みを継続的かつ主体的に行います。

○技術相談・試験分析

企業が抱える課題や求めるニーズをしっかりと把握して、研究開発事業や試験分析などへの展開を含めたきめ細やかな支援に努めます。新たな製品化、事業化につながる依頼試験や設備使用においては、その中から課題を把握し、公設のみならず民間を含めた他試験機関の紹介や連携を進めながら、解決に向けた支援を柔軟かつ積極的に行います。

○交流・連携

企業や産業界の状況、ニーズを的確に把握するため、企業現場への訪問を積極的に行い、情報収集を実施します。また、業界との技術研究会活動を推進し、face to faceの交流促進や情報把握、研究開発プロジェクト、県内の企業人材育成等への展開を図ることで、産業界の発展を支援・促進します。

工業技術センターや関係機関が持つ支援機能なども活用し、これら機関と連携・協力して、それぞれのステージにあった総合的支援を行います。

○情報発信

工業技術センターや関係機関が持つ支援機能や研究成果等を積極的に情報発信します。さらに、補助金情報などをタイムリーに提供し、企業の活用を促します。

1-4 職員構成

区分\所属	企画管理部	化学繊維 研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(人)
事務職員	5	0	3	1	4	13
技術職員	10	17	18	10	33	88
労務職員	1	2	1	0	5	9
合計(人)	16	19	22	11	42	110

所長、副所長は企画管理部に含む。

1-5 土地及び建物

項目\所属	企画管理部 化学繊維研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(m ²)
土地(m ²)	12,687.57	12,698.10	6,016.12	9,104.00	40,505.79
建物(m ²)	5,517.74	5,729.31	2,342.00	6,456.59	20,045.64

1-6 支出決算額

科目\所属	企画管理部 化学繊維研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(円)	
人件費	324,285,770	186,474,008	93,801,502	345,849,958	950,411,238	
研究所費	管理費	18,009,855	39,161,010	8,372,387	33,170,474	98,713,726
	研究費	34,703,300	23,218,738	13,153,137	77,105,641	148,180,816
	依頼業務費	2,747,050	445,486	934,489	2,490,810	6,617,835
	備品費	113,432,440	40,357,790	29,153,300	252,367,940	435,311,470
	小計	168,892,645	103,183,024	51,613,313	365,134,865	688,823,847
合計	493,178,415	289,657,032	145,414,815	710,984,823	1,639,235,085	

1-7 工業所有権

1-7-1 令和4年度に登録された工業所有権（6件）

発明の名称	特許番号	登録日	備考
スツール(意匠)	意匠登録 第1714721号	R4.05.02	共同出願
仏壇(意匠)	意匠登録 第1716670号	R4.05.27	共同出願
乾燥椎茸の製造方法及び機能性食品の製造方法	特許第7164122号	R4.10.24	共同出願
フロアライト(意匠)	意匠登録 第1731687号	R4.11.30	共同出願
収納家具(意匠)	意匠登録 第1731926号	R4.12.02	共同出願
マイクロニードルアレイの製造方法	特許第7203321号	R5.01.04	県単独

1-7-2 令和4年度に公開された特許（2件）

発明の名称	公開番号	公開日	備考
米飯の製造方法	特開2022-067930	R4.05.09	共同出願
バイオフィルムの形成能評価方法、バイオフィルムの形成能評価装置及びバイオフィルム形成能の評価に用いるためのマルチウェルプレート用蓋部材	特開2022-122790	R4.08.23	共同出願

1-7-3 令和4年度の工業所有権総数等

(令和5年3月31日現在)

項目	件数	内 訳
保有特許等	88件	国内特許48件、実用新案1件、意匠11件、国際特許28件
出願特許等(R4年分のみ)	5件	国内特許2件、意匠3件
実施許諾契約	52件	-

1-8 視察・見学等 (47件)

化学繊維研究所 (13件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
福岡県中小企業生産性向上支援センター	R4.04.15	2
(株)久留米リサーチ・パーク	R4.04.15	4
(国研)産業技術総合研究所	R4.06.03	2
(公財)福岡県産業・科学技術振興財団	R4.06.15	3
オガワ機工(株)	R4.07.19	5
福岡県議会 県民生活商工委員会	R4.08.09	20
博多織工業組合 手織部会	R4.08.30	20
日之出ホールディングス(株)	R4.11.09	4
内閣府沖縄総合事務局	R4.11.17	2
(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター	R4.12.01	6
静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター	R5.02.16	1
(国研)産業技術総合研究所	R5.03.10	1
中国駐福岡総領事館	R5.03.22	5

生物食品研究所 (8件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
福岡県中小企業生産性向上支援センター	R4.04.27	1
中小企業庁 経営支援部・九州経済産業局・(公財)福岡県産業・科学技術振興財団	R4.06.08	6
学校法人開智学園 開智中学校(埼玉県) (生徒)	R4.11.02	3
沖縄県商工労働部	R4.11.30	4
(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター	R4.12.13	6
福岡県中小企業生産性向上支援センター	R4.12.21	1
西南学院大学 (学生)	R5.02.15	1
福岡国税局	R5.03.17	3

インテリア研究所 (6件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター	R4.07.20	2
(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 他	R4.10.05	16
大川商工会議所 女性会	R4.11.02	18
(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター	R4.12.09	7
(国研)産業技術総合研究所	R4.12.27	1
近畿大学 産業理工学部 建築・デザイン学科	R5.03.23	2

機械電子研究所 (20件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
アイム電機工業(株)	R4.04.22	8
福岡県議会 県民生活商工委員会	R4.05.10	18
(株)久留米リサーチ・パーク	R4.05.12	5
福岡県商工部 企業立地課	R4.05.19	3
(公財)福岡県産業・科学技術振興財団	R4.05.27	3
ヒノデホールディングス(株)	R4.06.16	4
石川県工業試験場	R4.06.19	1
九州・沖縄地域公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会 参加者	R4.07.07	16
(国大)九州工業大学	R4.07.15	3
(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター	R4.11.24	5

企業・団体名等	月日	人数(名)
(公財)飯塚研究開発機構 めっき技術中核人材育成講座 受講者	R4.12.02	14
福岡県中小企業生産性向上支援センター	R4.12.19	3
(国大)大阪大学、(独)国立高専機構 沖縄工業高等専門学校	R4.12.20	2
(株)高田工業所	R4.12.21	2
(地独)岩手県工業技術センター	R5.01.17	4
(一社)日本工業炉協会	R5.01.20	2
静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター	R5.02.17	3
鹿児島県工業技術センター	R5.02.22	3
福岡ひびき信用金庫	R5.02.27	2
(同)ゆわく	R5.03.28	1

1-9 研究課題評価委員会

○開催概要

令和3年度 研究実施結果に係る中間・事後評価

日時：令和4年5月30日(月) 10:20~16:00

場所：工業技術センター 研修室

対象：令和3年度実施研究課題 事後評価 5課題

○委員

氏名(敬称略)	所属
寺島 祐二	(株)久留米リサーチ・パーク テクニカルコーディネーター
仲 孝幸	(公財)飯塚研究開発機構 テクニカルコーディネーター
野村 眞一	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 産学コーディネータ
藤本 潔	(公財)北九州産業学術推進機構 イノベーションセンター 産学連携担当部長
平井 寿敏	(国研)産業技術総合研究所 九州センター 所長
古川 勝彦	(国大)九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
森 直樹	(国大)九州工業大学 工学研究院 教授

○開催概要

令和5年度研究計画に係る事前評価

日時：令和4年9月22日(木) 10:10~15:30

場所：工業技術センター 研修室

対象：令和5年度実施研究課題 事前評価 6課題

○委員

氏名(敬称略)	所属
寺島 祐二	(株)久留米リサーチ・パーク テクニカルコーディネーター
仲 孝幸	(公財)飯塚研究開発機構 テクニカルコーディネーター
野村 眞一	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 産学コーディネータ
藤本 潔	(公財)北九州産業学術推進機構 イノベーションセンター 産学連携担当部長
平井 寿敏	(国研)産業技術総合研究所 九州センター 所長
古川 勝彦	(国大)九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
森 直樹	(国大)九州工業大学 工学研究院 教授

1-10 受賞・表彰・学位取得（7件）

内 容	対 象 者	月 日	備 考
工業技術センター職員表彰	化学課 中西 太郎	R4.09.16	表彰テーマ:乾留技術を利用したタイヤ部材リサイクルの事業化研究
	化学課 野見山 加寿子		
	研究企画課 浦川 稔寛		
工業技術センター職員表彰	材料技術課 中野 賢三	R4.09.16	表彰テーマ:高機能複合めっき技術に関する研究
	材料技術課 吉田 智博		
	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 古賀 弘毅		
農林水産省及び(公社)農林水産・食品産業技術振興協会 令和4年度(第78回)「農業技術功労者表彰」	食品課 大場 孝宏	R4.12.09	表彰テーマ:福岡県独自の清酒酵母・酒米並びに酒造関連技術の開発と普及
福岡県職域表彰	技術開発課 本 明子	R5.02.06	表彰テーマ:「製品企画力高度化支援事業—NIKAWA—」の取り組み強化
	技術開発課 友延 憲幸		
	技術開発課 隈本 あゆみ		
	技術開発課 富永 由佳		
	商工部 中小企業技術振興課 楠本 幸裕		
	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 小野 昌志		
(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 石川 弘之			
福岡県職員表彰 研究表彰	電子技術課 田中 雅敏	R5.02.06	表彰テーマ:紫外線によるウイルス・菌の不活化・除菌装置の開発
日本水産学会 令和4年度日本水産学会論文賞	生物資源課 黒田 理恵子(※)	R5.02.20	表彰テーマ:Inactivation of anisakis larva using pulsed power technology and quality evaluation of horse mackerel meat treated with pulsed power Fisheries Science 88, 337-344 (2022)
(一社)日本ファインセラミックス協会 令和4年度日本ファインセラミックス協会賞「地域賞」	化学繊維研究所 小野 幸徳	R5.03.22	福岡県地域におけるファインセラミックス分野の研究開発と当該技術を活用した伝統的セラミックス産業の発展・振興への貢献
	化学課 阪本 尚孝		
	化学課 原田 智洋		
	化学課 山下 洋子		
	化学課 親川 夢子		
化学課 蓮尾 東海			

(※)主受賞者は外部機関です

1-11 職員派遣研修（21件）

企画管理部（1件）

研 修 名	研 修 先	期 間	派 遣 職 員
研究開発・技術部門が行うシナリオプランニングを活用した「勝てる」ロードマップの策定・実行の具体的な手法	サイエンス&テクノロジー（株）	R4.09.20	山田 圭一

化学繊維研究所（4件）

研 修 名	研 修 先	期 間	派 遣 職 員
ゴムの配合設計力向上のための技術と情報	サイエンス&テクノロジー(株)	R4.07.08	中西 太郎
プラスチックジャパン セミナー「DNP 環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING と新たな取組み」	RX Japan(株)(幕張メッセ)	R4.12.07	田中 大策

研修名	研修先	期間	派遣職員
二軸スクリュ押出機の基礎から応用へ	サイエンス&テクノロジー(株)(WEB)	R5.02.16	田中 大策
テキスタイルカレッジ「繊維製品の品質管理と品質保証」	日本繊維機械学会(大阪科学技術センター)	R5.03.07	泊 有佐

生物食品研究所 (3 件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
澱粉の基礎知識と調理特性	(株)テックデザイン オンライン(WEB)	R4.10.24	田崎 麻理奈
基礎からわかるリアルタイム PCR ハンズオン トレーニング I	ライフテクノロジーズジャパン(株)	R4.11.29	上田 京子
食品の開発・製造で「おいしさ」と「品質」を制御するための食品の“成分・構造”と“物性”の基礎理論及びその因果関係	(株)テックデザイン オンライン(WEB)	R5.01.16	青木 敬祐

インテリア研究所 (3 件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
女性マーケター養成講座	(株)女ゴコロマーケティング研究所 (WEB)	R4.07.09, R4.07.16, R4.07.30	隈本 あゆみ
木材接着講習会	(公社)日本木材加工技術協会	R4.07.19-20	脇坂 政幸
JMLA ベーシックパスポート	日本マーケティング・リテラシー協会 (WEB)	R4.11.17-18	隈本 あゆみ

機械電子研究所 (10 件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
scFLOW 入門トレーニング(オンライン)	エムエスシーソフトウェア(株)	R4.07.07-08	大内 崇史
産業用ロボットの教示等特別教育	(株)安川電機 ロボットスクール 九州教室	R4.06.20-21	南 守
産業用ロボットの検査等特別教育	(株)安川電機 ロボットスクール 九州教室	R4.06.27-28	島崎 良
FPR めっきの航空機分野への展開の可能性調査	Aeroedge(株)、オーエム産業(株)	R4.08.25-26	吉田 智博
レーザー溶接の基礎と応用および溶接管理技術	(株)R&D 支援センター	R4.08.26	菊竹 孝文
粉末冶金アドバンスコース	九州大学	R4.08.27	在川 功一 田尻 智基
接着制御・メカニズム解析の考え方と分析評価法	サイエンス&テクノロジー(WEB)	R4.09.20	吉田 智博
公設試験研究機関研究職員研修	中小企業大学校 東京校	R4.11.15-18	西澤 崇
最新のレーザー溶接技術と各種材料・異種材料 接合への応用	(株)R&D 支援センター	R5.01.16	菊竹 孝文
レーザー溶接の基礎と溶接欠陥の防止策および 高品質溶接・異材接合への展開	(株)R&D 支援センター	R5.03.16	島崎 良